

こちら航空宇宙推進室 ニュースレター

IST社 「ZERO」のエンジン燃焼器単体試験に成功

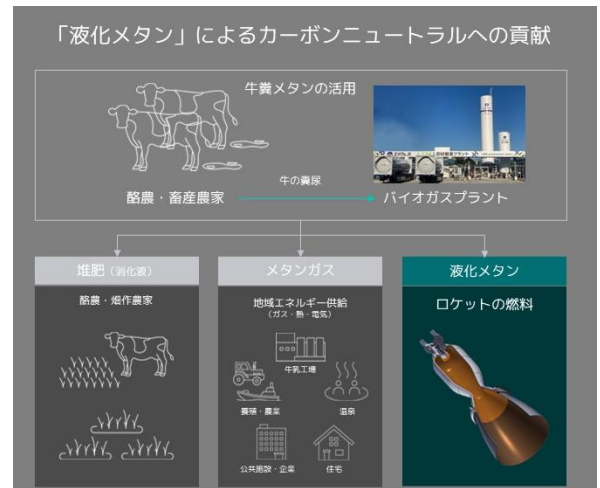
町内でロケット開発・製造を行うインターステラテクノロジズ社が小型人工衛星打上げロケット「ZERO（ゼロ）」のエンジン「COSMOS（コスモス）」の燃焼器単体試験に成功しました。

この試験では、町内の牧場の牛ふんから製造された液化バイオメタンをロケット燃料として初めて活用し、十分な性能があることを確認できました。液化バイオメタンによる燃焼試験実施を発表しているのは、欧州宇宙機関（ESA）が開発しているロケットエンジンに続き**世界で2例目、民間ロケットとしては初めて**となります。

試験は11月下旬から始まり、2024年の1月末までの火曜日・木曜日の各日1回を予定しています。



燃焼試験の様子（IST社提供）



北海道スペースポート 滑走路延伸工事の状況

北海道スペースポートの滑走路延伸工事について、令和5年度の工事が終了しました。

既存の1,000mの**滑走路を300m延伸**する計画で、西に250m・東に50m延伸しています。今年度は舗装工事まで完了し、来年春に滑走路上のマーキングを行います。滑走路が延伸されることで、これまではセスナ機のような小型プロペラ機の離着陸しか行えませんでした。今後は小型ジェット機の離着陸が行えるようになり、滑走路を**利用する企業・団体の増加**を見込んでいます。



空港のような旅客業は行えませんが、プライベートジェット機により北海道スペースポートへ往来することができるようになります。

なお、工事にかかる費用は**国の交付金（デジタル田園都市国家構想交付金）と企業版ふるさと納税の寄附金**を活用しています。

室工大「オオワシ2号機」の実験を行いました

室蘭工業大学の航空宇宙機システム研究センターが、11月2～9日に、北海道スペースポート（HOSPO）内の滑走路にて、小型超音速飛行実験機「オオワシ2号機」の縮小機体（1/3スケール）を用いて、空力特性把握のための**車載走行試験**を行いました。

オオワシ2号機は、大気中を高速で飛行するための技術研究開発と飛行実証を行うものです。研究成果は、宇宙空間を經由して地球上の2地点を短時間で結ぶ2地点間輸送や地球軌道への往還輸送に活用できます。

室蘭工業大学は、2018年から実験を行っているほか、2021年には**町と連携協定**を結び、歴舟地域コミュニティセンターにてサテライトオフィスを設置しています。また、インターステラテクノロジズ社の次世代ロケット「ZERO」のターボポンプの共同研究を行うなど、大樹町における**宇宙のまちづくり**に大きく貢献しています。

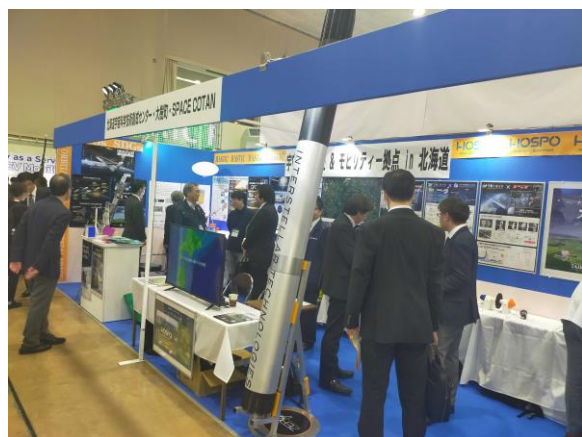


ビジネスEXPOへ出展しました

11月9日～10日にアクセス札幌にて開催された北海道最大級のビジネスイベント「**ビジネスEXPO**」に、NPO法人 北海道宇宙科学技術創成センター（HASTIC）とSPACE COTANとともに出展しました。

インターステラテクノロジズ社の「ZERO」の模型を展示するなど、大樹町での航空宇宙の取り組みや、室蘭工業大学や北海道科学大学など道内で行われている宇宙開発の取り組みを紹介しました。

ビジネスEXPOにはビジネス層を中心に、2日間合計で約2万人超が訪れ、北海道スペースポート整備資金とする企業版ふるさと納税の寄附営業やビジネス交流の機会とすることができました。



銀河連邦フォーラムへ参加しました

11月10日～11日、長野県佐久市で開催された「**銀河連邦フォーラム**」に参加しました。

各銀河連邦共和国との情報交換を行ったほか、佐久市には、JAXAの深宇宙探査機との通信を行う地上局があり、今回は「**美笹深宇宙探査用地上局と臼田宇宙空間観測所**」を視察しました。

また、佐久市農業祭へも参加し、イベントのじゃんけん大会で大樹町の特産品を景品として贈呈した他、銀河連邦物産展で大樹町の特産品を販売し、町の魅力をPRしました。

※銀河連邦：JAXAの研究施設がある自治体で構成した交流組織のこと。

